

理系大学院生の社会体験と教育の支援

(平成 23 年 8 月 2 日)

当財団は、大学院生の研究活動の支援を目的として（１）奨学金を支給する研究奨励事業（２）学校法人等の研究活動への支援を目的とした人材育成事業を継続的におこなっています。その一環として実施した、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科（文部科学省の推進する大学院における教育プログラムに積極的に取り組んでいる）主催の「企業体験プログラム」への協力についてご紹介します。

2008 年より続くこのプログラムでは、いわゆる就職活動・企業研究ではなく、「企業（社会）で働く上での職業観やキャリアパス形成の重要性を学ぶ」ことを目的としており、当財団としても科学人材の育成を支援するという公益に適う活動と位置づけています。本年度は、サントリー酒類株式会社およびサントリービジネスエキスパート株式会社の協力のもと、博士前期課程学生 5 名を受入れ、研修を行いました。

サントリー酒類株式会社ビール商品開発研究部から、より美味しいビールづくりに込める熱意についての話、またサントリービジネスエキスパート株式会社植物科学研究所から、世の中に無かった青いバラの開発という夢を追いかけて実現した話および質疑応答があり、続いて当財団の同大学院 OB の研究員が、基礎研究者の自由と社会に対する責任について話し、ディスカッションを行いました。

午後からは、サントリー京都ビール工場にて、工場長よりビールの製造、工場の運営・管理等、技術者として熱のこもった話を聞き、製造工程を見学して、出来たてのビールを試飲しました。ビール好きの学生ばかりで、質問、意見など、大いに盛り上がりました。

プログラム終了後の学生のレポートから、企業研究者・技術者との交流を通じて製品開発と商品の安全・安心にかける熱意が伝えられたこと、また当財団研究員の姿から、研究者・技術者として社会で働く楽しさ、責任、意義について何がしかを学び取ったことが、十分にうかがえました。